

令和 7 年上半期

火災と救急・救助の概要



三 木 市 消 防 本 部

令和 7 年上半期火災と救急・救助の概要

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

令和 7 年上半期の火災概要

本年上半期（１月～６月）に発生した火災件数は３６件で、前年と比べ２６件増加しました。

火災種別では、建物火災が３件増加して９件（２５％）、林野火災は３件増加して３件（８％）、車両火災は４件増加して５件（１４％）、その他火災は１６件増加して１９件（５３％）となっています。

建物焼損棟数は１５棟で、全焼３棟、半焼２棟、部分焼９棟、ぼや１棟、り災世帯は４世帯、り災人員は１１人です。

建物焼損面積は１３１㎡（前年９４８㎡）で減少しました。

火災損害額は１４，４５７千円（前年４２，２４９千円）で減少しています。

１ 火災種別件数（対前年比）

発生年		令和 7 年	令和 6 年	比 較
出火件数		36件	10件	26件
火 災 種 別	建 物	9	6	3件
	林 野	3	0	3件
	車 両	5	1	4件
	船 舶	0	0	0件
	その他	19	3	16件

2 火災概要（対前年比）

出火件数は、前年と比べると26件増加し、死者と負傷者がそれぞれ2名増加しています。

損害額は27,792千円減少しています。

区 分	単 位	令和7年	令和6年	比 較
出 火 件 数	件	36	10	26
建 物	〃	9	6	3
住 宅	〃	5	3	2
工 場	〃	2	1	1
そ の 他	〃	2	2	0
林 野	〃	3	0	3
車 両	〃	5	1	4
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	19	3	16
損 害 額	千円	14,457	42,249	△ 27,792
建 物	〃	7,061	42,241	△ 35,180
建 物	〃	5,272	9,138	△ 3,866
収 容 物	〃	1,789	33,103	△ 31,314
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	1,191	5	1,186
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	6,205	3	6,202
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	15	11	4
全 焼	〃	3	5	△ 2
半 焼	〃	2	0	2
部 分 焼	〃	9	4	5
ぼ や	〃	1	2	△ 1
爆 損	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m ²	131	948	△ 817
建 物 表 面 積	〃	71	127	△ 56
林 野	a	32	9	23
車 両	台	7	1	6
船 舶	台	0	0	0
負 傷 者	人	4	2	2
死 者	〃	2	0	2
り 災 世 帯	世帯	4	10	△ 6
全 損	〃	0	2	△ 2
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	4	8	△ 4
り 災 人 員	人	11	21	△ 10
建物1件当たりの損害額	千円	785	7,040	△ 6,255
〃 焼損床面積	m ²	15	158	△ 143

※損害額については、調査中1件を除く。

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は10件増加、広野管内は7件増加、吉川分署管内は9件増加しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	7年	3	0	2	0	9	14
	6年	3	0	0	0	1	4
広野分署	7年	4	0	2	0	3	9
	6年	2	0	0	0	0	2
吉川分署	7年	2	3	1	0	7	13
	6年	1	0	1	0	2	4
合 計	7年	9	3	5	0	19	36
	6年	6	0	1	0	3	10

4 地区別火災件数

三木南地区、青山地区を除く全ての地区で増加しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
7年	5	1	2	2	6	1	4	5	0	10	36
6年	3	2	1	0	0	0	0	0	0	4	10

5 月別火災件数

4月が12件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
7年	6	7	4	12	2	5	36
6年	2	1	3	1	2	1	10

6 曜日別火災件数

木曜日と金曜日が8件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
7年	5	2	0	7	8	8	6	0	36
6年	1	3	0	2	0	2	2	0	10

7 時間別火災件数

15時台が6件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
7年	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	5
6年	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
4	4	2	6	2	0	1	2	2	2	0	0	0	36
0	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	10

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が23件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
7年	6	23	2	0	0	3	2	36
6年	3	4	0	0	0	2	1	10

9 原因別火災件数

たき火が14件で、前年同様出火原因のトップです。

原因別	7年	6年	原因別	7年	6年
たばこ	3	0	配線器具	1	0
こんろ	1	0	火あそび	1	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	2	0
風呂かまど	0	0	たき火	14	2
炉	0	0	溶接機・切断機	0	1
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	1	0	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	3	0
排気管	1	0	放火の疑い	0	0
電気機器・装置	1	0	その他	5	3
電灯・電話配線	1	1	不明	1	2
内燃機関	0	0	調査中	1	1
			合計	36	10

たき火欄内訳	7年	6年
たき火	5	0
虫焼火	9	2
合計	14	2

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、36件中22件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をかけた	もみ消した	その他	小計		
7年	0	7	6	0	2	7	22	14	36
6年	0	1	4	0	0	2	7	3	10

11 死者の状況

2月の建物火災で1名、3月のその他火災で1名、合計2名の死者が発生しています。

12 消防部隊出動状況

種 別 \ 署 別	本 署	広野分署	吉川分署	合 計
部 隊	64	35	51	150
偵 察	22	12	25	59
警 戒	41	23	26	90
応 援	1	0	0	1
風 水 害	0	0	0	0

(救助は除く)

※「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査 等
「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動 等
「応援」 近隣応援(市外、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動 等

13 高速道路別出動状況

道 別 \ 種 別	火 災	救 急	救 助	偵 察	警 戒	応 援	風水害	合 計
中 国 道	0	0	0	0	0	0	0	0
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山 陽 道	2	0	2	2	0	0	0	6
合 計	2	0	2	2	0	0	0	6

令和7年上半期の救急概要

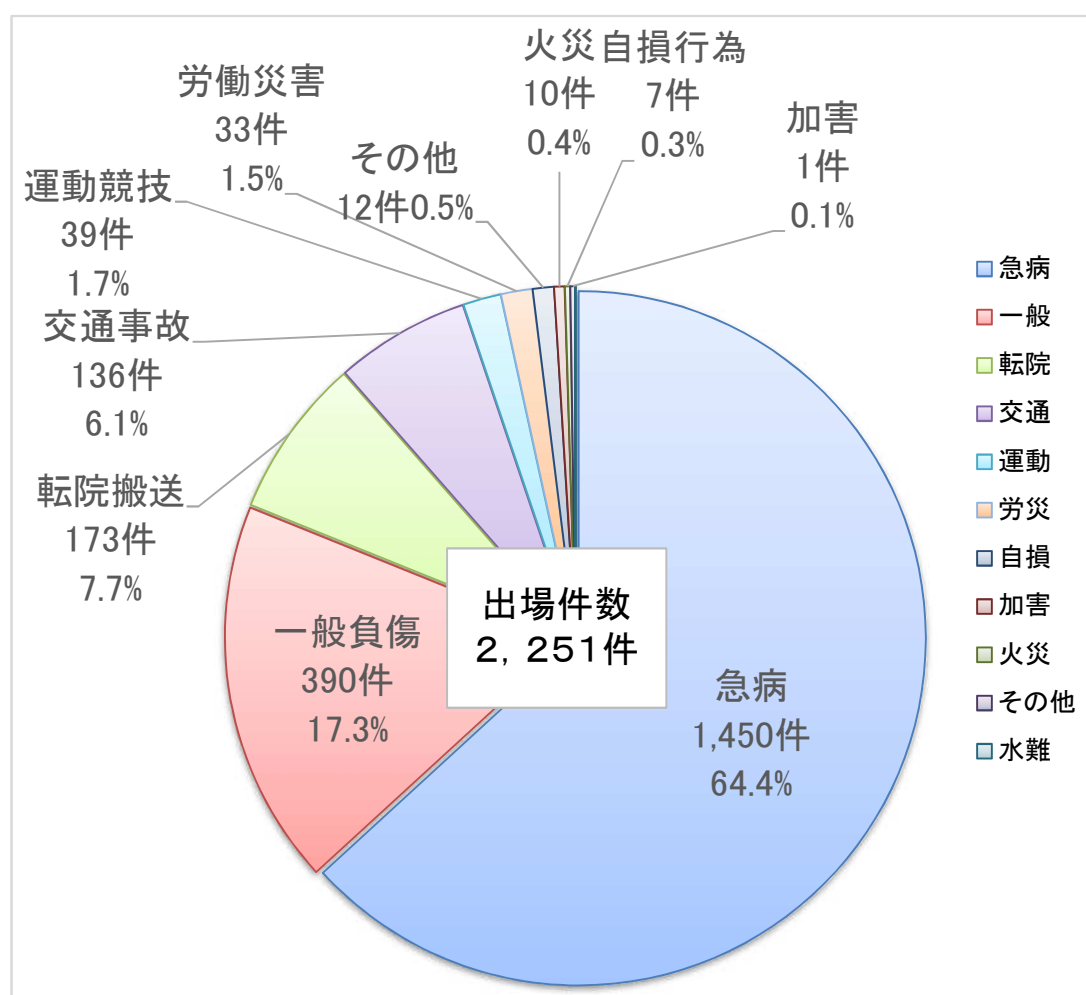
令和7年上半期（1月～6月）の救急出場件数は2,251件で、前年の2,142件に比べ109件増加しています。

搬送人員は2,052人で、昨年の1,926人に比べ126人の増加となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,450件（64.4%）で最も多く、一般負傷390件（17.3%）、転院搬送173件（7.7%）、交通事故136件（6.1%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、急病91件、運動競技17件、交通事故16件の増加、転院搬送27件、加害10件の減少となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

		救急出場件数			搬 送 人 員			
		7年	6年	比較	7年	6年	比較	
事故種別	火 災		10	6	4	4	1	3
	自然災害		0	0	0	0	0	0
	水 難		0	0	0	0	0	0
	交通事故		136	120	16	140	103	37
	労働災害		33	31	2	32	31	1
	運動競技		39	22	17	37	20	17
	一般負傷		390	379	11	357	342	15
	加 害		1	11	△ 10	1	8	△ 7
	自損行為		7	12	△ 5	2	7	△ 5
	急 病		1, 450	1, 359	91	1, 307	1, 214	93
	その他	転 院 搬 送	173	200	△ 27	172	200	△ 28
		医 師 搬 送	0	0	0	0	0	0
		資 器 材 輸 送	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	12	2	10	0	0	0
	合 計		2, 251	2, 142	109	2, 052	1, 926	126
不 搬 送		217	223	△ 6				
管外搬送					1, 465	1, 354	111	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地 区	三 木	三木南	別 所	志 染	細 川	口吉川
7年	680	224	216	177	75	42
6年	589	199	197	170	64	49

緑が丘	自由が丘	青 山	吉 川	その他	合 計
216	282	109	213	17	2,251
223	321	98	214	18	2,142

4 曜日別救急出場件数

日曜日が最も多く、最も少ないのは水曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合 計
7 年	354	351	300	282	321	334	309	2,251
6 年	316	342	303	285	291	308	297	2,142

5 月別救急出場件数

1 月が最も多く、最も少ないのは5 月 6 月です。

1 ヶ月平均 3 7 5 件、1 日平均では 1 2 . 4 件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合 計
7 年	480	370	355	376	335	335	2,251
6 年	386	355	339	350	356	356	2,142

6 時間別救急出場件数

1 0 時台の 1 7 8 件が最も多く、次に 1 2 時台の 1 5 3 件で、最も少ないのは 1 時台の 3 3 件で、次に 3 時台の 3 5 件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
7 年	45	33	37	35	38	41	50	78	121	137	178	139
6 年	59	37	31	39	29	42	52	72	124	124	163	160

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合 計
153	130	139	141	120	137	92	101	89	80	73	64	2,251
144	129	95	125	120	103	107	83	83	85	78	58	2,142

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が52.3%を占めています。

単位：人

程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
7年	36	46	896	1,074	0	2,052
6年	23	66	809	1,028	0	1,926

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の68.9%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
7年	1	70	69	499	1,413	2,052
6年	1	68	62	457	1,338	1,926

9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性が114人増加し、女性が12人の増加となっており、科目別では、内科1,105人、脳神経外科366人、整形外科346人の順となっています。

単位：人

科目	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
7年	73	35	160	186	216	150	585	520	45	20	1	5
6年	64	35	137	191	178	141	555	490	32	44	0	3

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
9	2	3	4	5	21	10	1	1	1,108	944
12	4	2	4	6	17	5	3	3	994	932

10 応急処置件数

全搬送人員 2,052 人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
応急処置対象人員(人)	1,307	140	357	248	2,052
止 血	6	10	43	11	70
固 定	6	67	41	13	127
人 工 呼 吸	0	0	0	1	1
胸 骨 圧 迫	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	50	0	1	1	52
酸 素 吸 入	340	11	15	51	417
気 道 確 保	89	0	5	3	97
経口エアウェイ	1	0	0	0	1
喉 頭 鏡・鉗子	0	0	1	0	1
※ラリngeアルマスク 等	28	0	0	0	28
※気 管 挿 管	3	0	1	0	4
以外	57	0	3	3	63
保 温	39	7	6	5	57
被 覆	5	23	90	18	136
在 宅 療 法 継 続	24	0	0	0	24
冷 却	20	0	5	3	28
除 細 動	8	0	0	0	8
血 圧 測 定	1,255	138	355	246	1,994
心音・呼吸音聴取	401	47	29	36	513
血中酸素飽和度測定	1,263	140	356	247	2,006
心 電 図 測 定	1073	63	143	161	1,440
※静 脈 路 確 保	33	0	2	1	36
心肺機能停止前	1	0	1	1	3
心肺機能停止後	32	0	1	0	33
※アドレナリン 投 与	16	0	1	0	17
※血 糖 測 定	8	0	0	0	8
※ブドウ糖 投 与	0	0	0	0	0
そ の 他	1,270	140	356	247	2,013
合 計	5,906	646	1,448	1,044	9,044

※印は、救急救命士の特定行為等

令和 7 年上半期の救助概要

令和 7 年上半期における救助出動件数は 6 2 件で、前年と比べ 1 2 件増加しています。

1 救助出動状況

事故種別 区分		火 災	交 通	水 難	風 水 害	機 械 等	建 物 等	ガ ス 等	破 裂	そ の 他	合 計
出動件数（件）	7 年	8	16	1	0	1	31	0	0	5	62
	6 年	5	15	0	0	0	28	0	0	2	50
活動件数（件）	7 年	8	8	1	0	0	16	0	0	3	36
	6 年	5	10	0	0	0	15	0	0	2	32
救助人員（人）	7 年	1	12	1	0	0	8	0	0	3	25
	6 年	0	9	0	0	0	9	0	0	4	22
出動台数（台）	7 年	15	60	3	0	4	78	0	0	13	173
	6 年	13	44	0	0	0	70	0	0	7	134
出動人員（人）	7 年	40	168	8	0	9	216	0	0	38	479
	6 年	43	132	0	0	0	198	0	0	21	394

2 発生場所別出動件数

事故種別 発生場所		火 災	交 通	水 難	風 水 害	機 械 等	建 物 等	ガ ス 等	破 裂	そ の 他	合 計
屋 内	住 居	3	0	0	0	0	30	0	0	0	33
	その他の屋内	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
屋 外	高 速 道 路	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他の道路	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14
	その他の屋外	1	0	0	0	1	1	0	0	2	5
	内 水 面	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	外 水 面	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	山 岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計		8	16	1	0	1	31	0	0	5	62

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が31件で全体の50%を占めています。地区別では、三木地区が18件と最も多くなっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木	1	1	1	0	0	12	0	0	3	18
三木南	0	2	0	0	0	7	0	0	0	9
別所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
志染	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
細川	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
口吉川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緑が丘	2	1	0	0	0	4	0	0	0	7
自由が丘	2	1	0	0	0	4	0	0	0	7
青山	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
吉川	1	5	0	0	1	2	0	0	1	10
高速道路	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
管外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	16	1	0	1	31	0	0	5	62